

令和4年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市馬宮コミュニティセンター外3施設
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市西区大字西遊馬533番地1(さいたま市馬宮コミュニティセンター) さいたま市西区三橋6丁目642番地4(さいたま市西部文化センター) さいたま市北区吉野町2丁目195番地1(さいたま市宮原コミュニティセンター) さいたま市北区日進町1丁目312番地2(さいたま市日進公園コミュニティセンター)</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動のための施設として設置</p> <p>③施設の概要 (さいたま市馬宮コミュニティセンター) 【開館】平成14年5月7日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上3階建 【敷地面積】5,661.47㎡ 【延床面積】5,270.93㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員298名)、第1集会室(定員45名)</p> <p>(さいたま市西部文化センター) 【開館】平成2年12月1日 【構造】鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建 【敷地面積】5,311.07㎡ 【延床面積】4,897.71㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員420名)、音楽室(定員50名)</p> <p>(さいたま市宮原コミュニティセンター) 【開館】平成12年4月10日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上3階建 【敷地面積】2,458.79㎡ 【延床面積】3,393.39㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員312名)、レクリエーションルーム(定員30名)</p> <p>(さいたま市日進公園コミュニティセンター) 【開館】平成23年4月1日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上2階建 【敷地面積】762.53㎡ 【延床面積】629.73㎡ 【主要施設】体育室(定員50名)、料理室(定員25名)</p>
(3)指定管理者	公益財団法人さいたま市文化振興事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和2年度279,149千円、令和3年度280,550千円、令和4年度283,824千円</p>

<p>(5)施設の管理運営の内容</p>	<p>①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 265,131人(前年度187,302人) ・稼働率65.8%(前年度62.3%)</p> <p>◇業務実施状況 ・生涯学習活動の支援となる文化事業の企画及び実施 ・地域交流拠点としての役割を發揮する文化事業の企画及び実施 ・コミュニティ活動等の情報提供・相談対応 ・施設の貸出し 等</p> <p>②維持管理業務の状況 ・施設、設備等の保守管理及び修繕を実施</p> <p>③その他の業務 【文化事業】 ・「母の日プレゼント講座」(5)、「心も体もリフレッシュ～健康運動講座～」(6)、「みやはら演劇フェス」(10)、「日商簿記3級対策講座」(20)等、各種講座を実施しました。また、グループ連携事業として「あなたの活動撮らせてください！」(16)も開催し、団体、サークル等の活動を広く市民の方に紹介できました。さらに、地域拠点としての機能力向上を目的に日進地区の歴史ある「大宮日進七夕まつり」(430)に参加し、地域ネットワーク強化を図りました。 ※()内の数字は、参加人数 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業を中止しました。</p>																					
<p>(6)収支状況</p>	<p>①収入</p> <table border="0"> <tr> <td>・指定管理料</td> <td>283,824千円</td> <td>(前年度280,550千円)</td> </tr> <tr> <td>・文化事業収入</td> <td>608千円</td> <td>(前年度 431千円)</td> </tr> <tr> <td>・その他収入</td> <td>711千円</td> <td>(前年度 562千円)</td> </tr> </table> <p>②支出</p> <table border="0"> <tr> <td>・人件費</td> <td>118,455千円</td> <td>(前年度114,199千円)</td> </tr> <tr> <td>・事務費</td> <td>2,002千円</td> <td>(前年度 2,781千円)</td> </tr> <tr> <td>・施設管理費</td> <td>166,541千円</td> <td>(前年度153,714千円)</td> </tr> <tr> <td>・文化事業費</td> <td>1,982千円</td> <td>(前年度 1,225千円)</td> </tr> </table>	・指定管理料	283,824千円	(前年度280,550千円)	・文化事業収入	608千円	(前年度 431千円)	・その他収入	711千円	(前年度 562千円)	・人件費	118,455千円	(前年度114,199千円)	・事務費	2,002千円	(前年度 2,781千円)	・施設管理費	166,541千円	(前年度153,714千円)	・文化事業費	1,982千円	(前年度 1,225千円)
・指定管理料	283,824千円	(前年度280,550千円)																				
・文化事業収入	608千円	(前年度 431千円)																				
・その他収入	711千円	(前年度 562千円)																				
・人件費	118,455千円	(前年度114,199千円)																				
・事務費	2,002千円	(前年度 2,781千円)																				
・施設管理費	166,541千円	(前年度153,714千円)																				
・文化事業費	1,982千円	(前年度 1,225千円)																				
<p>(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応</p>	<p>・音楽室のピアノ椅子に不具合があると利用者から指摘があり、購入し対応いたしました。(馬宮) ・音楽室内に全身が映る鏡が欲しいとの利用者から要望があり、フィルムミラー1台を設置し対応いたしました。(西部文化) ・多目的ホールと同等の譜面台を音楽室で使用したいという要望があったことから、新規に音楽室用譜面台を購入し設置いたしました。(宮原) ・体育室にあるアップライトピアノが使いづらい向きで配置されているとの意見があったことから、各団体の利用状況調査を行い、適切な位置に移動し、利便性及び安全性の向上を図りました。</p>																					
<p>(8)その他</p>	<p>・地域連絡協議会を年2回開催し、各委員からの要望、提言等を生かした施設管理及び次年度以降の文化事業立案に取り組みました。また、地域拠点としての地域交流機能、地域支援機能、生涯学習機能を意識した文化事業を実施しました。</p>																					

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施	新型コロナウイルス感染拡大の防止を徹底しながら、幅広い年齢層を対象に文化事業を開催し、地域住民間の交流を図りました。また、ノーマライゼーションの取り組みとして、埼玉県立大宮ろう学園でアウトリーチジャズコンサートを開催しました。さらに、利用団体の活動の成果発表及び団体間の情報交換を目的に「コミセンまつり」を行い、団体間交流を図ることができました。
コミュニティ活動等の情報提供・相談対応事業	馬宮グループ情報誌「SNOW」の第2号・第3号を発行し、地域住民への情報提供に努めました。また、事業団ホームページや生涯学習情報システム、さいたま子育てWEBを活用した情報提供を行いました。相談対応事業として、市民相談コーナーを設け、市民の生涯学習や地域交流、地域支援に関する相談等も受け付けました。
施設の貸出	新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底しながら、「新しい生活様式」のもと、常に利用者の安心・安全に重点をおいた施設の貸出に努め、希望する利用団体へ消毒セットの貸し出しました。また、利用者サービスの一つとして設置しているWi-Fiスポットを利用者が容易に利用できるよう、館内掲示等により有効活用を図りました。
施設維持管理	指定管理者基本協定書の業務仕様書に基づき、施設や舞台設備等の点検を適切に実施しました。また、利用者が快適に過ごせるよう施設環境の整備にも努め、職員による日常的な巡回点検を行い、危険箇所の早期発見に努める予防管理を行い、ライフサイクルコストの低減に努めました。さらに、屋外広告物の点検を有資格者により実施し、安全な施設管理に努めました。
市施策事業との連携	市民活動サポートセンターとの協働事業として「コミセン・サポセン・プラザ施設利用団体交流&展示会」を市民活動サポートセンターで開催し、利用団体相互の交流と活動PR展示を行いました。
利用者満足度調査	施設利用者には「職員の対応や施設・整備等」について、また講座参加者には「講座内容や今後の希望等」について、それぞれアンケート調査を実施し、利用者の満足度向上に向けて改善を図りました。また、アンケート結果や改善内容については、自由に閲覧できるように受付窓口を設置しました。

3 評価

(1) 指定管理者による評価

- ①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進については、「市民が主役である」という意識を常に持ち、地域のコミュニティ拠点機能の強化に努めました。また、指定管理事業計画書に基づき、さいたま市の代行者として、コンプライアンスの徹底及び学習機会の提供や地域住民が交流できるような様々な事業「太鼓まつり」(西部文化)や「子ども食堂」(日進公園・共催)等を実施し、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実を図りました。
- ②経費削減については、4施設グループ制のメリットを最大限に生かし、グループ単位での委託業務契約や職員の柔軟な勤務体制により、植木類維持管理等を職員が行う等の取組を実施しました。
- ③適正な管理運営の確保については、コミュニティ施設が発揮すべき機能・目的を常に意識した管理運営をグループ内全職員で共有し、誰もが気軽に訪れる施設として、日常の危機管理と緊急時への備えを万全にし、特に新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底しながら、常に安心して安全な施設環境を提供することに努めました。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価 (B) ※A~D

1 項目別の評価

(1)市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進に関する取組

- ・利用の少ない調理室の利用を促進するため、調理室を会場とした文化事業を実施している。また、炊飯器、電子レンジ、食器等を更新・追加し、また利用したいと思われるような施設運営に努めている。
- ・季節に合わせた装飾を施設内に施し、施設内の明るい雰囲気づくりに努めている。
- ・Wi-Fiスポットを増設したり、トイレの手洗い場の自動水栓化を進めたりしている。

(2)経費削減に関する取組

- ・光熱水費削減のため、複合施設では各施設に節電を呼び掛けており、不要な照明の消灯や空調のこまめな設定が徹底できている。
- ・印刷の際は裏紙を利用し、紙の使用枚数を抑えている。

(3)適正な管理運営の確保に対する取組

- ・外部団体が主催する研修に積極的に受講し、業務への理解を深めることに努めている。
- ・消防訓練において、避難ばしごを利用した2階からの避難体験を施設職員が積極的に体験し、災害時に適切な対応ができるよう備えている。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、施設の適正な管理運営の確保及び市民サービスの向上に努めていただきたい。